



地震災害

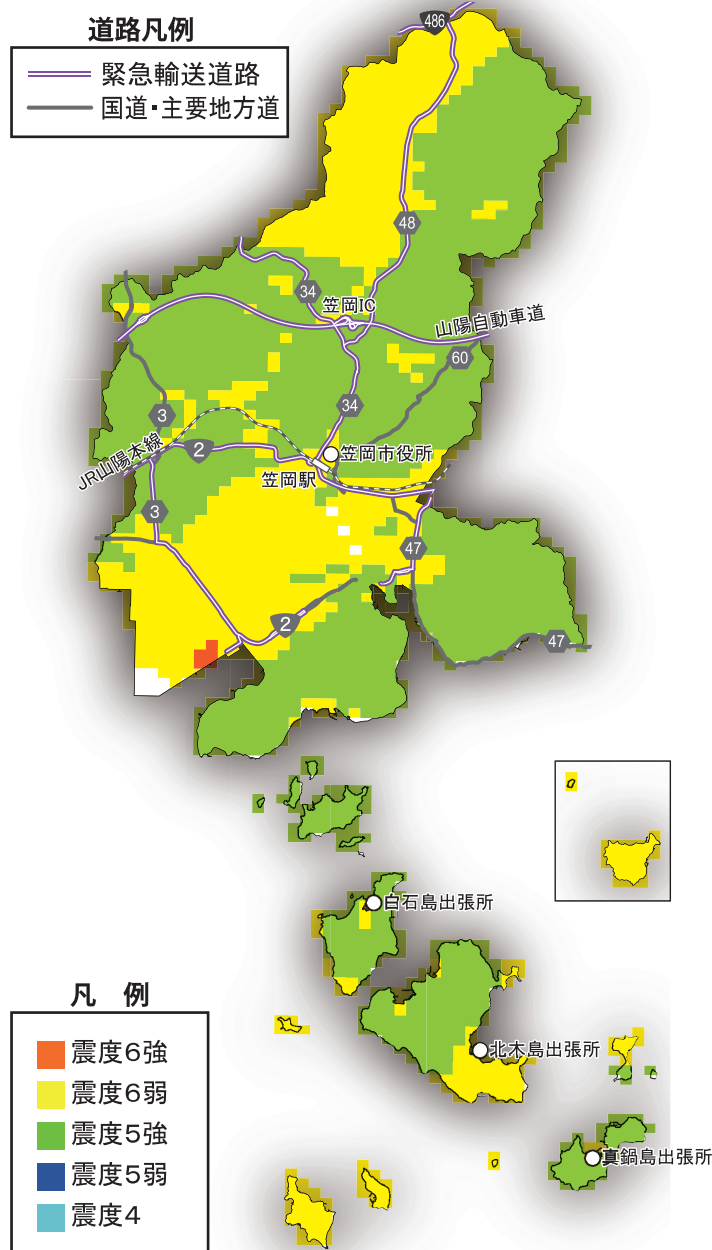
南海トラフ巨大地震

今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの規模の南海トラフ地震が、70～80%の確率で発生すると言われています。岡山県では、国が想定する南海トラフ巨大地震の発生モデルを基に、県内の震度が最大になる条件下で被害想定を行っています。

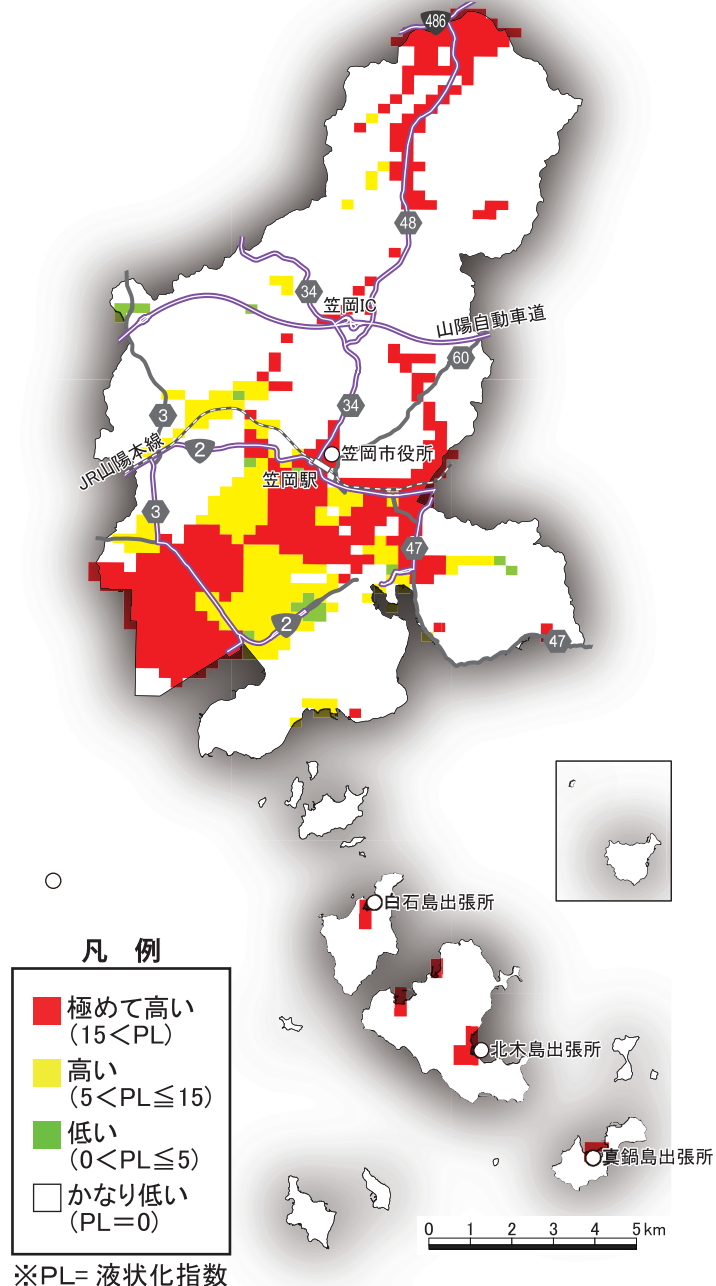
笠岡市では最大震度6強の揺れが発生すると予想されています。建物被害は、揺れによる全壊が最大57棟、液状化による全壊が最大392棟と想定されています。また、地震に伴う津波や火災等の二次災害も含めた場合、557人の死傷者が想定されています。

あらかじめ危険な場所を把握し、もしも地震が発生した場合は、自らの命を守るための最善の行動をとりましょう。

震度分布



液状化危険度分布



地震災害のときの避難の注意点！

1 地震発生

揺れの発生！

1 慌てず、まずは身を守る！

- 屋内にいるとき
 - ・クッションなどで頭を保護する。
 - ・丈夫な机の下で身を守る。
 - ・倒れてくる家具や落下物に注意する。
- 屋外にいるとき
 - ・ブロック塀や自動販売機などから離れる。
 - ・窓、看板、瓦などの落下に注意する。
 - ・頭をかばんなどで守りながら空き地や公園に避難する。



2 揺れがおさまったら

余震に注意！

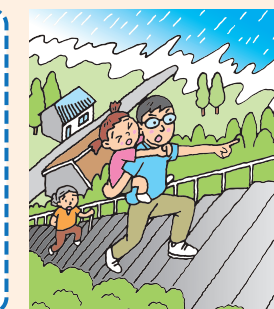
2 安全を確認して、すぐ避難！

- 火元の確認
火元を確認し、ガスの元栓、電気のパレーカーを落とす。
- 靴を履く
底が厚く丈夫で動きやすい靴を履き、ガラスの破片や散乱物から足を守る。
- 家族、地域の安全確認、救助活動
家族の安否を確認し、避難の際にも声掛けを行いながら家の中などで閉じ込められたり怪我をしている人はいないかを確認する。万が一、自分が閉じ込められた時は、あわてず、笛を鳴らしたり、近くにあるものを叩いて音を出して、存在を知らせる。



津波発生の危険性！！

- 津波の心配がある地域では、すぐに避難！
強い地震や、弱くても長時間の揺れを感じたときは、津波が起きる可能性があります。沿岸部や川沿いにいる人、津波浸水想定区域の住民は直ちに避難してください。また、大きな地震の後には余震が発生する可能性があります。余震に注意しながら避難してください。それ以外の地域では、初期消火を行い、火災による二次災害を防ぎましょう。



3 避難後

3 避難したそのあとは、

- 正しい情報を入手
地震・津波がおさまった後も、ラジオ・テレビなどで正しい情報を入手してください。
- 繰り返し襲ってくる災害に注意
地震は、余震が複数回起こる可能性があります。また、津波は繰り返し襲ってきます。警報・注意報が解除されるまで安全な場所で避難してください。

